

1. 事業の位置付け

事務事業名	産業活性化ビジョンの推進及び改訂事業		
事業担当	経済部 産業振興課		
予算科目	01-070102-890000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	01	① <持続可能> 産業の発展を持続させる	
	01	1 産業の持続的な発展に向けて、基本的な理念と戦略を確立する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、事業者	事業期間	平成13年度～
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働：      商工会議所等産業団体】		
目的・目標		事業の概要	
「産業活性化ビジョン」を改訂することにより、商・工・農・漁業の横断的な産業振興策が実施されています。		産業活性化のため、各産業分野の計画を具現化する「産業活性化ビジョン」を改訂します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	産業活性化ビジョン改訂に係る会議開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			2	4	4			
	実績			2					
活動指標②	指標名	現行の産業活性化ビジョン推進会議開催回数						単位	回
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			2	2	2			
	実績			2					
成果指標①	指標名	産業活性化ビジョン改訂進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：（庁内推進検討会議）10%、H20：（庁内推進検討会議・庁外検討会議等）30%、H21：庁内推進検討会議・庁外検討会議、庁議等）60%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			10	40	100			
	実績			5					
成果指標②	指標名	産業活性化ビジョン実施計画事業平均評価（5段階評価）						単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			4	4	4			
	実績			3.95					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
各産業ごとに現行の産業活性化ビジョンの推進会議を開催し、各事業展開を図った。現行の産業活性化ビジョンの改訂のため部内で検討会議を開催し、改訂の準備を進めた。									
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	現産業活性化ビジョンに沿って各産業の事業展開を図っており、事業の必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	現産業活性化ビジョンを推進することにより産業の振興が図られ、有効性が高い。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	現産業活性化ビジョンの総括を図りつつ、次期産業活性化ビジョンの策定に向けた事業展開を図ることは妥当性が高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	次期産業活性化ビジョンに向けた改定にあたっては、商工会議所、商店会、工業会等関係団体のノウハウを参考にしながら行っており効率的である。	● 高 ○ 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 庁内外の検討委員会を早期に発足し、改訂に向けた作業を推進する。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				現ビジョンの推進	現ビジョンの推進、 新ビジョンへの改訂準備	現ビジョンの推進、 新ビジョンへ向けた改訂		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	10,000	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	10,000	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.68	0.68	0.68	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	5,706	5,706	5,706	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	5,706	5,706	15,706	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続    ○ 拡大して継続    ○ 縮小して継続    ○ 廃止    ○ 休止    ○ 終了    ○ 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 21年度中にビジョンの改訂を完了する。	
平成21年度の実行方針	
産業活性化のため、各産業分野の計画を具現化する「産業活性化ビジョン」を改訂する。	
課長コメント	産業活性化ビジョンの策定は、地域の実情に応じた体系的かつ能動的な施策の推進を図るため全産業を包括した産業政策の確立を目的としているので、この事業は継続して実施していく。